



元気っ子

No.243 ながさわ保育園

園長 市川温予

一年中で一番いい季節になりました。自然界に目を向けると周りの木々も少しずつ紅葉をはじめ、草むらから聞こえる虫の声や夜露の冷たさに触れると秋の訪れを肌で感じます。数か月前のあの猛暑がうそのようです。これからだんだん寒くなり、寒暖の差が大きく体調を崩しやすいので普段から風邪の予防として“手洗い、うがい、しっかり食べて、ぐっすり睡眠”を心がけていただければと思います。

さて、10月の大きな行事「親子で楽しむ運動会」にはたくさんの方にご参加いただきありがとうございました。当日の不安定な天候の為、競技の中断、園庭の状態、プログラムの変更と保護者の皆様にはご迷惑をおかけしましたが、皆様のご協力のもと、無事終えることができました。子ども達一人ひとりの嬉しそうな笑顔をたくさん見ることができました。年長児はプラカードを持って誘導してくれたり、プログラム紹介としてアナウンス係り、競技のお手伝いと役割をしっかりと果たしてくれました。さすが年長児だなと成長を感じました。また、毎年一番盛り上がるライオン組の親子リレーは、見応えがあり、私達もそして観客席も一体となり応援に力が入りました。そして、一般有志の“ダッシュで綱引き”も足元が悪く綱を引くとドロドロになりながらもお父さん、お母さん方が一生懸命になっている姿はとても素敵でした。子ども達にとってもそういう大人の姿を目にするということはとても大切なことだと思いました。



運動会後は運動会ごっこを楽しんだり、先日は4歳児（年中）が園庭で跳び箱をしていました。最初は全く跳べなかった子も繰り返し練習することで少しずつクリアしていきます。少しコツを覚えると子どもはすごいです。安田先生が、一つひとつ丁寧に跳び箱の手のつき方、踏み切り板の足のけり方、足の開き方などその子に応じて教えているのを見ていい姿だなと思いました。子どもも大人も一生懸命です。こうやって大人も子どもも一生懸命になってその場の共有、時間の共有そして何より「できたあー！」の共感がとても大切だと思いました。子ども達もだんだん跳べるようになると顔つきも変わり、嬉しいので何度も何度も跳んでいました。見ていると子ども自身が学び、そして体験し、自分で体得していく力はすごいなと思います。遊びの中で楽しく繰り返していくことで体得していくことは積み重ねられ、出来ることが増えていきます。本当に夢中こそ最善ですね。



これからの時季、戸外に出て自然の中でいろんな所へ散歩に出かけたり、いっぱい身体を動かし、健康なからだ作りをしていきたいと思います。

今月も楽しく、子ども時代を夢中になっていろんな実体験ができるような保育を提供していきたいと思っています。